



白鳳点描

安全に配慮して、楽しい水遊びを

校長 水野 夏子

今年の夏は暑く、長く続く予報が出ています。暑くなると、水遊びがたくなります。本校では、すでにお知らせしているように、今年から民間業者の施設を使用した水泳指導を行うことになりました。実施時期は2学期になりますが、夏休みを前に、水に関する安全指導は1学期中に行っていきたいと思います。海や河川、プールなどでご家族や友達と自然や水に親しむことは、夏の思い出の一つになりますが、危険と隣り合わせでもあることを忘れないようにしたいものです。どんな危険があるかを知り、対策をとって大いに楽しんでいただきたいと思います。

海で遊ぶ時の安全配慮として、次のようなことが考えられます。

- 天気や海の状態を必ず確認しましょう。天気が急変することもあります。
- 日陰を作り、定期的に体を休めたり水分補給をしたりしましょう。体調がすぐれないときの入水は危険です。
- 泳いでいて急に足がつると、パニックになります。準備体操をしてから入水しましょう。
- 河口付近は河川の流れと海の潮の流れが入り混じり、流れが複雑になります。海底の地形も変わりやすく、水深や流れが急に変わることがあります。
- 海水浴場の溺水事故の約半分は離岸流によるものと言われています。慌てず落ち着いて横に移動することも念頭に置いておきましょう。
- 活動内容に合わせた浮き具やライフジャケットを活用しましょう。
- 岩場は潮の流れが複雑で、足場が滑りやすいです。急な高波に襲われることもあります。生物観察であってもライフジャケットを活用しましょう。
- 波が高い時の防波堤も危険です。覗き込んで落ちてしまうこともあります。など…。



以上が全てではなく、危険回避のための知識は、いくつあってもよいはずですが、これが河川の場合、プールの場合で考えると、まだまだたくさんを知っておく必要があります。子どもだけで全てを理解することは難しいのですが、ご家族でお出かけの際には、是非、現地で具体的に教え、伝えてあげてください。きっと、生きてはたらく知識として、その後も役立つことと思います。

日常では体験できない貴重な経験をするチャンスです。安全に配慮して、楽しい水遊び、楽しい夏をお過ごしください。